

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	4 1	学校名	宇都宮市立城山東小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-------------

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤として、自らの向上とよりよい社会への発展に寄与するため、主体的に生きていくことができる、心身ともに健康でたくましい人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

〔目指す児童像〕

- ・心豊かで思いやりのある子（豊かな心）
- ・よく考え進んで学ぶ子（確かな学力と創造性）
- ・健康で明るい子（たくましく健やかな体）
- ・根気強くがんばる子（あふれる気力・実践力）

〔目指す教師像〕

- ・人間性豊かで信頼される教職員
- ・児童とともにある教職員
- ・学び続ける教職員

〔目指す学校像〕

- ・温かさと活気に満ちた学校
- ・安心・安全な学校
- ・地域とともにある学校

スローガン「ふれあい つながり
学び合う 城山東小学校」

2 学校経営の理念

児童一人一人の能力を伸ばし未来をたくましく生き抜くための基礎となる力を培うために、保護者や地域との連携を図りながら、教職員が協働して、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する。児童と教職員がふれ合う中で、よさを発揮し生き生きとして輝ける学校、つまり、児童にとって「行きたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」、教職員にとって「勤めたい学校」を目指す。

3 学校経営の方針

学校教育目標の実現のために、「学習指導要領」「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」の趣旨を踏まえ、本校児童の観察、学校評価や各種調査結果に基づき、以下の方針で学校経営の充実に努める。

- (1) 豊かな人間形成のため、カリキュラム・マネジメントを進めることにより、教育活動のさらなる質の向上と教育効果の向上を目指す。
- (2) 「心豊かで思いやりのある子」を育成するため、全ての教育活動を通して、生命と人権を尊重する心や他者への思いやりの心を育む道德教育を推進する。
- (3) 「よく考え進んで学ぶ子」を育成するため、学業指導を基盤に、学習意欲を高めつつ知識・技能を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力等を育む教育活動を推進する。
- (4) 「健康で明るい子」を育成するため、健康で安全な生活習慣を身に付ける指導と、体力の向上を図る教育活動を推進する。
- (5) 「根気強くがんばる子」を育成するため、夢や目標に向かって希望をもち努力させる活動や、学級・学校のために協働する力を育む教育活動を推進する。
- (6) 教職員が倫理観と使命感をもち、資質・能力向上のために自己研鑽に努め、児童一人一人を大切にして教育活動を展開し、誰からも信頼を得られるように努める。
- (7) 教職員が健康でやりがいをもって勤務し、質の高い教育が展開できるように、働き方改革の視点に立ち、職場環境改善の取組を推進する。
- (8) 城山地域学校園と、魅力ある学校づくり地域協議会の組織を活用し、地域とともにある学校づくりを推進する。

〔城山地域学校園教育ビジョン〕ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園
 「自他を尊重し、郷土に愛着をもち、諸活動を通して互いに高め合う児童生徒」の育成
 《スローガン》みんなで育てよう！ 自分を愛し、仲間を愛し、地域を愛する城山の子

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び同施行規則並びに学習指導要領，県や市の教育ビジョン等を踏まえ，児童の実態や地域社会の実情に基づき，「人権教育」を基盤に特色ある教育の展開が図れるよう編成する。
- (2) 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで，心身ともに健康で逞しい児童を育むことを目指して編成する。
- (3) 学習指導要領を踏まえ，教育内容の質的な充実を目指した学習指導を展開し，ICTの活用を図りながら，基礎的・基本的な内容の定着と個に応じた学習指導の充実に努める。
- (4) カリキュラム・マネジメントの視点に立ち，思考力・表現力と自己有用感を高めるために，各教科・特別の教科 道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動等の関連を図った教育活動を展開する。特に，「大谷プラン」の充実を図り，人や社会と関わる力や表現力を育成する。
- (5) 前年度の評価，児童の実態，社会情勢，地域社会の実情等を踏まえ，教育活動に創意工夫を加えて，児童の主体的，実践的な活動を十分に生かせるように配慮するとともに，目標の重点化による教育活動の精選を行い，児童と向き合う時間や教材研究の時間を産み出し，教育の質の向上を図る。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

【児童と教職員が生き生きと活躍できる学校組織の構築】

- ・教職員が協働して，児童が主体的に行動できる教育活動を展開し，意欲と自信をもたせ温かさと活気に満ちた笑顔溢れる学校づくりを推進する。
- ・教職員の資質・能力とチーム力を向上させるために，教職員の学び合いと職場環境改善（デジタル機器を活用した業務の効率化や勤務時間の適正化等）の取組を推進する。
- ・地域とともにある学校づくりの具現化を図るために，保護者会や地域協議会の活性化を図るとともに，地域の人材や資源を活用した学習の充実により特色ある学校づくりを推進する。

(2) 学習指導

【つながりの中で，自ら考え学び合う子どもの育成】

- ・めあての共有と言語による振り返りを重視し，「分かる」「できる」「楽しい」などが実感でき，学習意欲が高まる授業をするために，授業の展開を工夫する。
- ・基礎・基本の定着のために，自力解決と学び合いを組み合わせを行い，個に応じた指導を充実させるとともに，家庭学習の習慣化やまとめの学習の充実を図る。
- 学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力等を育成するために，児童が考える時間や学び合う時間を保障し，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。（宇都宮モデルの活用）
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行い充実した授業作りを目指して，1人1台端末等を効果的に活用する。
- ・夢や目標をもち自己実現に向け努力する態度を育てるために，キャリア教育を推進する。

(3) 児童生徒指導

【人とのかかわりを大切にし，豊かな心を育てようとする子どもの育成】

*児童指導の合言葉：あいさつ 時間 あったかことば →あじあ

- 進んで心のこもったあいさつができるよう，あいさつ運動を推進する。
- 自己有用感を高めるよう子どもの力を生かし，自己の良さが自覚できるような振り返りを行うとともに認め励ます教育を推進する。
- ・終了時刻まで仕事を見つけて働く清掃活動や学校に役立つ活動を推進し称賛する。
- ・他者を思いやる豊かな心を育むために，道徳科の授業の充実とともに，様々な人とのかかわり

心がふれ合う体験活動や、読書活動を推進する。

- ・互いを尊重し認め合い、全ての子どもが居がいのある楽しい生活ができる学級づくりと、いじめゼロ運動を推進する。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

【自他の生命を大切にし、進んで健康・体力の向上と安全な生活を心がける子どもの育成】

- ・自他の命を守る判断力と行動力を身に付けるために、安全教育を推進する。
- ・健康を管理する力を身に付けるために、保健指導を推進する。
- ・進んで運動し全身持久力等の体力を高められるよう、外遊びを奨励し体力アップタイムや各種検定を行う。

○望ましい食習慣を身に付けるために、食育を推進する。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

学校周辺の自然・文化や地域の人材等の資源を活用した活動を通して、郷土愛や感謝の心を育成する。また、人とのつながりの中で、自ら考え表現する力を育んだり達成感や充実感を味わわせたりすることで、自信と自己有用感を高める。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①思考力・表現力を育成するための学力ぐんぐんプロジェクト

◇各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動等で重点的に指導する単元の設定、定期的な評価

- ・聴き方・話し方の基本的な指導と考えのもたせ方、話合いのさせ方、考えを深めさせるためのコーディネートの工夫
- ・学校課題「つながりの中で、自ら考え表現する子どもの育成」の達成のための「思考のすべ」の日常的な活用

◇朝の学習「ぐんぐんタイム」における「ぐんぐん応援隊」の活用並びに週1回の「パワーアップタイム」の実施

- ・週2回の読書タイムと図書委員会とのタイアップ等の取組による読書活動の充実
- ・総合的な学習の時間等のまとめや成果発表する機会の設定

②地域資源や様々な人材の活用した学びと心の教育

◇宇都宮学も含めた郷土や地域に関する教育と、文化・芸術の視点を加えて再編成した「大谷プラン」による郷土愛の醸成と創造力・表現力の育成

◇地域ボランティアによる読み聞かせや各教科の学習支援の充実による人材活用及び、感謝の会の実施

◇プログラミング教育による論理的思考力の育成と情報活用能力の定着及びデジタル・シティズンシップ教育の充実

◇オンラインによる他校児童や社会人との交流による社会性の育成

③温かさと活気に満ちた学校生活

◇児童会を中心としたあいさつ運動の推進や縦割り班活動の効果的实施

◇幼保との交流活動・小中連携・介護福祉施設訪問等の積極的な推進

- ・帰属意識や自己有用感を醸成するための特別活動の充実

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

地域協議会の学校運営参画を推進し、地域の教育力を有効に活用した教育活動の充実に努

める。

②主な取組

- ・地域協議会における学校経営ビジョンの共通理解と学校運営参画の推進
- ・保護者や地域人材による学習支援，地域の芸術家の指導による文化・芸術活動の充実
- ・地域の産業等を学ぶ校外学習（いちご農家，大谷石採掘場，大谷寺，大谷石博物館）

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

地域学校園教育ビジョン「自他を尊重し，郷土に愛着をもち，諸活動を通して互いに高め合う児童生徒の育成」を具現化するため，小中学校の教職員が相互理解を深め，一貫した児童・生徒指導を実践する。

②主な取組

- ・地域学校園合同あいさつ運動の実施（地域協議会とも連携）
- ・各教科・領域におけるSDG sの学習を中心とした主権者教育の実施
- ・中学校教諭による乗り入れ授業の実施と，要請訪問等の相互授業公開
- ・各部会の開催と，郷土愛を醸成する教育の推進に係る宇都宮学を中心とした研究への取組

（３）不登校対策

①基本的考え

誰もが安心して過ごせる学級・学校づくりと認め励ます教育の推進により，自己肯定感を育むとともに，「不登校対策の手引き書」に基づき，不登校の未然防止・早期発見・組織での早期対応に努める。

②主な取組

- ・朝の会・帰りの会やふれあいコーナーの活用による児童相互の認め合い
- ・教職員による日々の称賛，「城山東キラリ賞」や「宮っ子心の表彰」を活用した認め励ます教育の推進
- ・Q-Uの結果を活用した個への働きかけや教育相談
- ・定期的な児童に関する情報交換やケース会議に基づいたチームでの対応とSCや関係機関と連携を図った対応
- ・欠席者への電話や家庭訪問の継続実施と節目の時期の面談

（４）G I G Aスクール構想

①基本的考え

情報活用能力・判断力・表現力・学習意欲等を育むため，個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための授業作りを目指して取り組む。

②主な取組

- ・授業のねらいや内容に応じた端末の活用
- ・複数の児童の意見を基に話し合い考えを深める活動への活用
- ・技能向上のための朝の学習（ぐんぐんタイム）での活用
- ・プログラミング学習の確実な実施（４・５・６年）

（５）宇都宮学

①基本的考え

児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするために，本校の特色である「大谷プラン」と関連させて充実を図る。

②主な取組

- ・社会科副読本（３・４年），宇都宮学副読本（５・６年）の活用による学習の確実な実施
- ・城山地区の校外学習・体験学習を核とした「大谷プラン」の充実（SDG sの視点を関連付けて）

